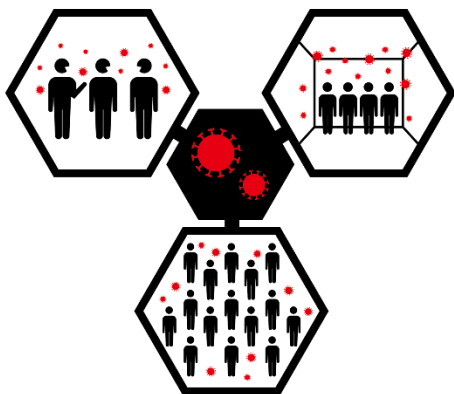


中国を発生源とした新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、安倍晋三首相は4月7日（火）、改正新型インフルエンザ対策特別措置法に基づき、緊急事態宣言を発令しました。



宣言の効力は5月6日までで、東京・千葉・埼玉・神奈川・大阪・兵庫・福岡の7都府県が対象となっています。

戦後 75 年、私たちが初めて経験する「**緊急事態宣言**」。これから最低でも1カ月の間は「密集・密閉・密接」の「**3密**」を避けて行動しましょう。



＜人との接触をできる限り減らす＞

＜自分が感染源にならない＞

＜自分も感染しているかもしれない、という意識で行動する＞

が必要です。

人との接触を最低でも7割、極力**8割減らす**ということは、例えば近い距離で会う人が1日に10人いるとしたら、それを2人しか会わないようにする、ということ。

また、人と接触する外出は**1日1回**を目安にすることです。

今月の話題

◆新型コロナウイルス関連の Twitter アカウント2つ



「**新型コロナクラスター対策専門家**」

「**新型コロナウイルス感染症に関する専門家有志の会**」

新型コロナウイルスは、「正しく知って、正しく恐れる」ことが大切です。〇〇だそう、〇〇みたい、と憶測でものを言ったり、あやふやな情報を人に伝えるのは控えましょう。

専門知識のある人の情報を手軽に知ることができるのが Twitter のいいところです。

まだ Twitter をやっていない方は、これを機にぜひはじめてみてください。

4月3日に開設された「**新型コロナクラスター対策専門家**」はコロナウイルスクラスター対策専門家の公式アカウントです。

<https://twitter.com/ClusterJapan>



日本国内の新型コロナウイルス感染の動向やデータの分析結果などを、わかりやすく説明してくれています。「クラスター」や「オーバーシュート」など、新型コロナウイルス感染症のクラスター対策でよく出てくる用語の解説もあります。

<https://twitter.com/senmonka21>



4月5日から更新を開始したのは、
「新型コロナウイルス感染症に関する専門家有志の会」です。

政府対策本部の専門家会議や、厚労省クラスター対策班等の関係者で組織された専門家の有志の会による公式アカウントです。

全世代のみなさまに拡散してほしいメッセージを知らせています。

「緊急事態宣言で変わる事・変わらない事」や「#感染時に備えよう 体調が悪いときにすること」など、note（ノート）というサービスを活用した解説ページも公開しています。

今月の質問

◆テレワークって、電話で仕事すること？

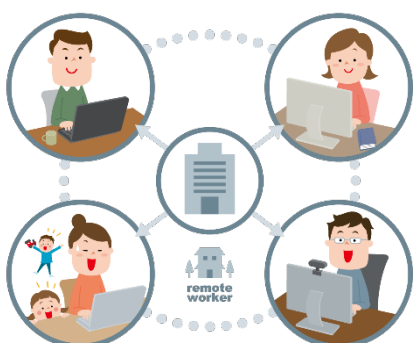
コロナウイルス感染拡大で、働き方も変わってきています。

通勤電車に乗らず、出社もせず、自宅で仕事をする「在宅ワーク」のことを「テレワーク」といいますが、「電話でなんか、私の仕事できないよ！」という人も続出。

「テレ」を「テレフォン＝電話」と思っている方も多いようです。

「テレ」は確かに「テレフォン」の「テレ」ですが、「Tele」とは「離れた場所」という意味。

テレワークは、「Tele（離れたところ）」と「Work（仕事）」を組み合わせた造語なのです。



用語辞典

◆ソーシャルディスタンス◆

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、外出を控たり、人との接触を減らそうという動きが出ています。

そんな中、「ソーシャルディスタンス（Social Distance）」という新しい言葉を耳にします。これは感染拡大を防ぐために、意図的に人と人との距離を保つことを意味します。

世界保健機関（WHO）では「*Maintain at least 1 metre (3 feet) distance between yourself and anyone who is coughing or sneezing*」（咳やくしゃみをしている人との間で少なくとも1メートルの距離を保つ）としています。

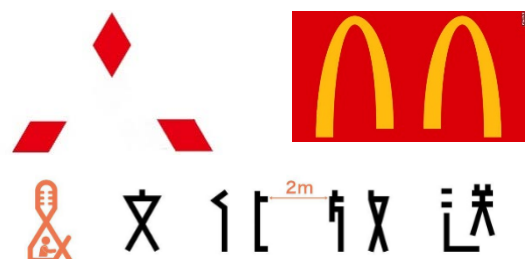
レジを待つ列でも、床にテープなどを貼って間隔を開ける、レジの上から透明の間仕切りをつるして、飛沫の飛散を防ぐなどの工夫をしている店が多くなってきました。

列に並ぶ目印の線 レジ前の透明の仕切り



少なくとも1メートル、できれば2メートルの距離を保ちましょう。

こちらはソーシャルディスタンスを表した企業のロゴです。



★大人の★ スマホ活用術



情報の探し方 Vol.03

スマホをお使いの方も、これからの方も。パソコンプラザ新浦安のスマホ活用アドバイザーが12回にわたって連載記事をお届けします。

* * * * *

戦後初の緊急事態宣言が出されました。皆さまは何で情報を得ていらっしゃいますか？ テレビ？ 新聞？ インターネット？ 何か1つだけ、というのではなく、情報は複数の手段で入手できるようにしておきましょう。スマートフォンはいつでもどこでも手に取れるので、情報収集には一番手軽な道具です。背面に🍏マークがついているiPhone（アイフォン）なら、Safari（サファリ）**①**というマークを押すと、パソコンと同じようにキーワードを入れて情報を検索することができます。背面に🍏マークがついていないAndroid（アンドロイド）なら、最初の画面**②**に検索ボックスがあり、キーワードをいれて検索できます。



スマートフォンの最初の画面（ホーム画面）には「ニュースが見たい」「動画が見たい」「写真が撮りたい」「メールを書きたい」と、目的に合わせてそれぞれ小さな絵柄が用意されています。それらの絵柄を「**アプリ**」といいます。スマホではやりたいことに応じて、アプリを使い分けます。

▼ニュースアプリの一例

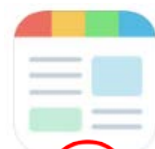
- ① NHK ニュース
- ② Yahoo! ニュース
- ③ スマートニュース
- ④ グノシー



①



②



③



④

▼YouTube（ユーチューブ）



YouTube ではさまざまな動画が見られます。例えば、海外に住む日本人の動画などを見ると、現地の様子がよくわかります。

▼Twitter（ツイッター）



Twitter の投稿には一般人のものも多いですが、高い専門性を持った人の投稿を直接読めるので、良質な情報源となります。

ワイドショーだけを見ているとか、情報源がテレビや新聞しかないとか、情報の一部しかわからないことがあります。テレビには「放送時間」、紙媒体には「紙面」という制限があります。そこに収めるために、情報は切り取られ編集されて私たちの目に入ることを覚えておきましょう。ネットにも出所の不確かな情報があり、それに振り回されることは避けなくてはなりません。一番よくないのは、自分で調べもせず、考えもせずに流れてくる情報を鵜呑みにすることです。日頃から「自分でも情報を探す」という癖をつけておく必要があります。スマホはいつでもどこでも簡単に情報が調べられる「**道具**」です。上手に使いこなしましょう。従来型の携帯電話をお使いの方も、これを機にスマートフォンにしてみませんか？

（パソコンプラザ新浦安／スマホ活用アドバイザー・増田由紀）